



伊達が小咄

The Date museum presents Date na kobanashi...

伊達博物館スタッフが教える
ちょっとここだけのハナシ...

VOL.4



富士山時絵硯箱
所蔵：公益財団法人宇和島
伊達文化保存会

■ 1月からの展示

まずは皆さん、新年あけましておめでとうございます。

当館では、1月より新たな展示で皆さんをお迎えます。今回はもりだくさん、3つのテーマから構成しています。

1つ目は「江戸の狩野派展—宇和島伊達家伝来品を中心に—」。宇和島伊達家に伝来する絵画の中でも、半数以上を占めているのが日本絵画史上最大の画派であった狩野派の絵師たちの作品です。今回の展示では江戸時代の狩野派の絵師の中から、探幽・常信、そして宇和島伊達家との関係を中心に江戸の木挽町狩野家を取り上げて、資料を紹介します。

昨年6月26日、ユネスコの世界遺産委員会において、日本政府が推薦した富士山が世界文化遺産に登録されました。これを記念して、当館でも伊達家に伝来する富士山関連の資料を紹介します。

だてさんちのみでむにえくん

作：オウガキヒトミ



2つ目は、世界文化遺産登録記念展「富士山の魅力—藩主の和歌と記録、調度品から見た富士山—」。

そして最後は、企画展「村侯と信仰」。宇和島藩歴代藩主の中でも、とりわけ信仰にあつかった5代藩主伊達村侯。村侯が遺した宗教関連の資料から、藩主とは違った一面を紹介します。

■なぜ宇和島で、富士山の展示？

宇和島では残念ながら富士山を見ることはできませんが、江戸時代、参勤交代という制度により宇和島藩主や藩士とその家族たちは江戸に住んでいたため、その姿を眺めることができ、毎年の上京や帰国の旅路でも見る事ができました。そのため、藩主の和歌や日記などにその情景がしたためられ、ここ宇和島に伝わっています。また富士山やその周辺域の景勝をデザインした調度や絵画も同様に伝来するのです。

これらの宇和島に伝来する資料から、世界文化遺産となった富士山の魅力を皆さんにもお伝えできれば...という思いから、この企画に至りました。

ぜひこの機会に当館へ足をお運びください！

※期間中、2月15日(土)~4月6日(日)は「ひな人形展」を開催します。展示品に変更がありますので、ご了承ください。

【問合先】 伊達博物館 ☎22-7776

展示期間：1月4日(土)~6月15日(日)

開館時間：午前9時~午後5時 (受付は午後4時30分まで)

休館日：月曜日・1月1日(水)~3日(金)

入館料：大人 500円 / 高校・大学生 400円 / 小・中学生 無料